

35年史

飯能ロータリークラブ

35年史



四つのテスト



1999 - 2000年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリー2000:

ROTARY 2000:

活動は- 堅実、

ACT WITH CONSISTENCY

信望、持続

CREDIBILITY CONTINUITY

飯能ロータリークラブ



飯能ロータリークラブ

創 立	昭和39年7月22日
承 認	昭和39年11月2日
認証状伝達式	昭和40年4月7日
創 立 会 員	36名
区 域	飯能市、名栗村
事 務 所	飯能商工会議所内
例 会 場	飯能プリンスホテル
例 会 日	水曜、12時30分
姉 妹 ク ラ ブ	韓国東清州R.C.
子 ク ラ ブ	越生毛呂R.C.
◇	日高R.C.

目 次

発刊によせて	会長 大木重雄	5
飯能ロータリークラブ創立35周年記念行事		6
平成7年以降5年間の記録		22
物故会員の冥福を祈って		52
編集後記		56

発刊に寄せて



会長 大木 重雄

飯能ロータリークラブは昭和39年7月22日創立以来ロータリーの綱領にしたがい多くの先輩諸兄及び会員の方々が有益な事業を通して「奉仕の理想」を実践しその精神を絶やすことなく努力してまいりました。

そして35周年を迎えました。35周年を記念して本年度数々の記念行事が行われましたがその一端として記念誌が発刊されることになりました。

当クラブは5年毎に年誌を発行しておりすでに30年史まで発刊され、その間の歴史は紹介されておりますので今回の記録は平成7年（1995年）以降のものとなりますのでご諒承下さい。

ふりかえって見ますと、24年前未熟な私がロータリークラブに入会させていただいたとき、飯能市の有力者を網羅したチャーターメンバーを前に緊張して初例会に出席したことがあざやかに思い出されます。

そのチャーターメンバーも35周年をもって吉田富雄会員が退会され細田徳二郎パスト会長おひとりになってしまいました。

この5年間に例会場もあさひ銀行からプリンスホテルに移転し雰囲気も大きく変わりました。

又、今年は西暦2000年20世紀最後の年であるべき21世紀を前にして会員を取巻く国内外の経済情勢も大きな変動をみせているかに思います。この記念誌が単なる記録にとどまらずクラブ発展の布石となることを切に願ってやみません。

飯能ロータリークラブの益々の発展と会員の皆様方の御健勝、事業の発展を祈念して記念誌発刊の言葉とさせていただきます。

終りに記念誌発行に際しまして森和夫委員長、中里昌平委員、浅見栄一委員に多大の御苦勞をおかけいたしましたことを心から感謝申し上げます。

35周年記念行事

14:30~15:00登録

第1部 式典 (15:00~16:00) (於6F エメラルドホール)

(司会) 幹事 北田 輔邦、副幹事 山崎 紘

●点 鐘

国歌「君が代」「韓国国歌」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

開式の言葉

35周年実行委員長 関谷 昭 氏

会長挨拶

会長 大木 重雄

創立会員代表挨拶

細田 徳二郎

来賓紹介

副会長 神田 康夫

物故会員への黙祷

●来賓祝辞

第2570地区ガバナー

梅沢 定彦 様

第2570地区第3分区代理

高柳 清 様

スポンサークラブ入間 RC 会長

山根 宏夫 様

大韓民国東清州 RC 代表

柳 貴鉉 様

飯能市長

小山 誠三 様

名栗村長

柏木 正之 様

祝電披露

S.A.A.

半田 武

記念事業発表

関谷実行委員長

●記念事業目録贈呈

ロータリー財団へ

金一封

アシスタント 間辺 桃代

飯能市へ

金一封

荻野 早映子

名栗村へ

金一封

東清州 RC へ記念品贈呈

飯能地方交通安全協会へ

金一封

飯能商工会議所へ

金一封

聖望学園高等学校へ

金一封

●表彰された会員名

○創立以来在籍会員 細田 徳二郎 吉田 富雄

- 30年以上在籍会員 竹田 久治
- 25年以上在籍会員 森 和夫 清水 栄次 林 羊一
(6名) 齋藤 文雄 萩野 映明 関谷 昭
- 20年以上在籍会員 石井 照雄 大野 康夫 福田 博 大木 重雄
(8名) 大浦 邦雄 中里 弘 細田 伴次郎 橋本 茂
- 15年以上在籍会員 石井 道夫 沢辺 滯彦 加藤 義雄
(5名) 五十嵐 久四郎 大久保 勝彦
- 10年以上在籍会員 吉田 健 内沼 幸一 矢島 巖 平沼 雅義
(14名) 宮田 実 大附 富義 半田 育 梨木 芳太郎
神田 康夫 北田 輔邦 浅見 栄一 半田 武
木川 一男 山崎 紘

●出席100%達成者 20年以上

竹田 久治	31年
関谷 昭	25年1ヶ月
福田 博	23年11ヶ月
橋本 茂	20年7ヶ月

●職員表彰

山岸多加子 西川かをる

●閉式の言葉

副実行委員長 橋本 茂

●点鐘

会 長 大木 重雄

第2部 記念講演 (16:10~17:10)

「曲がり角の日本経済」 あさひ銀行特別顧問 吉野 重彦 様

第3部 祝宴 (17:30~19:00)

開会あいさつ	司会 S.A.A.	半田 武、安藤 泰雄
祝辞	パスト会長	吉田 富雄
祝辞	パストガバナー	牧野 逸朗 様
乾杯	日高 R.C. 会長	大川戸 清 様
	パスト会長	竹田 久治

民謡

中メ 第2570地区職業奉仕部門委員長 森 和夫

大メ パスト会長 齋藤 文雄

閉会あいさつ 副実行委員長 細田伴次郎

飯能ロータリークラブ
35周年記念行事実行委員会

クラブ会長	大木重雄
副会長	神田康夫
幹事	北田輔邦
SAA	半田武
実行委員長	関谷昭
副委員長	橋本茂
副委員長	細田伴次郎
受付	竹田久治
接待	橋本茂
会場	細田伴次郎
表彰	大浦邦雄
記念品	梨木芳太郎
パティ	福田博
救護	石井道夫
記念誌	森和夫
会計	中目隆夫



ロータリー関係来賓		飯能商工会議所専務理事	谷 沢 眞 砂 永 様
第2570地区ガバナー	梅 沢 定 彦 様	聖望学園高等学校長	神 田 秀 夫 様
第2570地区ガバナー夫人	梅 沢 義 枝 様	飯能青年会議所理事長	増 田 伸 一 様
第2570地区バストガバナー	牧 野 逸 朗 様	姉妹クラブ来賓	
第 3 分 区 代 理	高 柳 清 様	国際奉仕委員長	前会長 柳 貴 鉉 様
入 間 R C 会 長	山 根 宏 夫 様	出席委員長	前会長 串 萬 植 様
入 間 R C 幹 事	森 田 英 郎 様	総 務	劉 暢 洵 様
狭 山 R C 会 長	岩 崎 徳 雄 様	S . A . A	前総務 金 柄 喆 様
狭 山 R C 幹 事	松 崎 典 貞 様	会 員	通 訳 金 舜 範 様
日 高 R C 会 長	大 川 戸 清 様	会 員	李 鐘 益 様
日 高 R C 幹 事	清 水 吉 三 様	会 員	南 基 燮 様
越生毛呂RC会長	波 田 二 三 雄 様	会 員	金 應 官 様
越生毛呂RC幹事	松 本 磐 様		許 順 姫 様
新狭山RC会長	小 久 保 富 夫 様	奨学生関係招待者	
新狭山RC幹事	野 村 政 平 様	米 山 奨 学 生	陳 綺 娜
狭山中央RC会長	嶺 福 常 様	ロータリー財団奨学生	ARWYN.OWEN.REES.
狭山中央RC会長エレクト	野 々 宮 二 夫 様	友情出席者	
入 間 南 R C 会 長	土 屋 武 義 様	入 間 R C	杉 山 定 太 郎 様
入 間 南 R C 幹 事	並 木 徳 行 様		浅 見 仁 一 郎 様
東清洲RC国際奉仕委員長	柳 貴 鉉 様		宮 岡 仁 平 様
日高RC (元飯能)	清 水 勇 三 様		馬 場 準 様
日高RC (元飯能)	花 家 孝 之 様		一 柳 芳 彦 様
日高RC (元飯能)	田 野 保 夫 様	新 狭 山 R C	小 原 茂 様
日高RC (元飯能)	高 木 泰 文 様	日 高 R C	石 井 幸 良 様
地域関係来賓			羽 吹 栄 治 様
飯 能 市 長	小 山 誠 三 様		後 藤 隆 治 郎 様
名 栗 村 長	柏 木 正 之 様		平 山 素 行 様
飯 能 警 察 署 長	赤 沼 勘 太 郎 様		万 戸 十 一 様
飯能地方交通安全協会会長	鴨 下 彦 三 郎 様		

開式のことば

実行委員長 関谷 昭

ご来賓の皆様方、また当地区のロータリアンの皆さん、未だお着きになりませんが、遠く韓国・東清洲クラブからお越しになります7名の方々、そして当クラブの奥様方、足もとの悪い中、沢山のご出席を賜わりまして、誠にありがとうございます。飯能ロータリークラブ35周年記念式典開式させていただきます。



会長あいさつ

会長 大木重雄

桜花爛漫の春、本日飯能ロータリークラブ創立35周年記念式典を催しましたところ、多数のご出席を賜わり、誠にありがとうございます。

本日は、地区大会目前にも拘わりませず、梅沢ガバナー様、牧野バストガバナー様、高柳分区代理、近隣クラブの会長・幹事様、日高ロータリークラブ元飯能会員、姉妹クラブ、韓国・東清洲の皆様、そして飯能市長・小山誠三様をはじめ、地元各界を代表する方々、ご多用中にも拘わらず、斯くも盛大にご出席を賜り誠にありがとうございます。（韓国語でのあいさつが入る）

そしてまた、イギリスよりの財団奨学生・アーウヨン・オーエン・リーズ君、台湾より米山奨学生・チン・キーナさん、元財団奨学生のキム・ヨンジュン君、ようこそお越し下されました。

省りみますと、昭和39年7月22日、入間ロータリークラブを親クラブとし、発足しましてから早や35年の歳月が経過致しました。その間、歴代会長・幹事のつきることないご努力により、創立会員2名を含む総員66名の在籍会員を有するに到りました。

浅学非才の私が申す迄もなく、昨今の急激な社会構造の変化の中で、本年度RI会長・カルロ・ラビツァさんのいう、堅実・信望・持続・のスローガンは、不動のものであります。

雑誌「ロータリーの友」最新号に岩手県立大学長・西澤潤一先生の「21世紀へ向けてのロータリーの夢」、ならびに大阪学園理事長・深川純一先生の「ロータリー運動の核心」と題する記念講演の要旨が掲載されていました。わかり易く解説されており、心から共鳴するものがあります。

当クラブも35周年を経過するに当たり、初心に帰って、ロータリーの何んたるかを、よく噛みしめながら、来たるべき21世紀に向けて、奉仕活動に邁進する所存であります。

本日は、折角お招き申し上げましたが、至らぬ点が多々あろうかと存じます。ロータリーの友情に免じて、ご容赦賜わりたくお願い申し上げます。終りにご列席皆様方の、ご健勝とご繁栄をご祈念申し上げ、甚だ粗辞ではございますが、歓迎のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



創立会員代表あいさつ

第15代パスト会長 細田徳二郎

本日は飯能ロータリークラブ35周年の祝典を催すに当り、大変ご多用中にも拘わらず、記念講演を戴きます、前あさひ銀行頭取の吉野さん、梅沢ガバナーさん初め近隣のロータリー役員の皆様、小山飯能市長様、柏木名栗村長様、特に遠く韓国東清洲のロータリアンとご婦人達多くのお客様をお迎えして盛大に式典を催す事が出来、誠に有難う御座います。更にこれからお祝辞を戴く事になって居り、重ねて御礼を申し上げます。当飯能クラブは昭和39年即ち1964年7月22日世の中オリンピック、新幹線、高速道路開通と素晴らしい年に入間ロータリークラブをスポンサーとして産声を挙げました。そして11月2日承認翌年4月7日認証状伝達式を天覧山の麓、飯能公会堂で桜吹雪の下で行いました。当時の会員36名今創立会員は吉田富雄さんと私の2人だけになりました。当時は東京千葉埼玉と一つの区域でガバナーは初代神守さん2代竹田の宮3代松方コレクションの松方さんでした。当時私は下から2番目の若さでしたが、35年を経た現在は上から何番目という歳になりました。その後地区は千葉、埼玉、となりさらに埼玉県になり、会員も多くなりましたので、1988年荒川を挟み2分割され2570地区と成り現在55クラブが御座います。今まで印象に残りましたのは、私は2代目のガバナー訪問で、その頃勉強不足で竹田の宮様に質問をされ閉口した事が思い出として残って居ります。多くの職業の違う方と交流が出来た事、地区大会で戴いた苗木が大きく育った事、良い卓話を聞かせて貰った事、幹事、会長、分区代理をしての緊張の連続、良い人生の勉強をさせて戴きました。数えればきりがありません。唯これからのロータリーの魅力は、今まで過ごして来たやり方と、少し変わって行くのでは無いかと思われまます。これだけスピードの早い世相今まではこうだったからが通用しない社会です。ロータリーに活力を与え、一般の市民の方々から魅力有るロータリークラブの存在こそ我々が望む団体とし



て認められる事だと思っ居ります。会員全部で努力しようでは有りませんか。私も微力ながら尽くす積りです。最後に東清洲の方ゆっくり日本を観光されて無事帰宅されます事を祈りご来会の皆様方の発展を祈念しご挨拶に代えさせて戴きます。

来賓祝辞

国際ロータリー第2570地区

ガバナー 梅沢定彦様

本日、国際ロータリー第2570地区飯能ロータリークラブの35周年が、関谷昭実行委員長・大木重雄会長のもとに、各役員及び会員方々のご尽力で、盛大に挙行されました事、心よりお慶び申し上げます。

この飯能クラブは、昭和39年7月創立され、国際ロータリー第2570地区の中堅のクラブとして、良くロータリーの奉仕の精神をご理解いただきながら、地域社会に対しても、大変なご理解の中で当地区のリーダー格として、ご活動いただいています事、改めてお礼申し上げます。次第です。

さて、話は少し前に遡りますが、公式訪問に際しクラブの皆さま、今年度の事業計画を討議した際、その各部門の計画が、今年度のテーマに添った素晴らしい計画です。特に21世紀を見通した諸計画。特に財団奨学生や米山奨学生等にもご理解いただきながら、楽しいロータリーライフを目指して活動しているクラブには、さすが35年のキャリアとして、他のクラブの模範と考えられます。

どうかこの飯能クラブが、35周年を出発点とし、他のクラブの指導的なクラブとして、益々ご発展することをご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



第2570地区第3分区代理

高柳 清様

創立35周年を迎えられ、飯能ロータリークラブの皆様には、心よりおめでとうと申し上げます。本日は、一分区代理の立場から、祝辞を述べさせていただきますことを、大変光栄に存じております。大木会長をはじめ、関谷実行委員長、会員の皆様には本日迄大変なご苦勞であったことと思います。

思い起こせば、飯能クラブは、昭和39年東京オリンピックの年、東海道新幹線開通の年と思いますが、記念すべき年に創立され、地区内では9番目という由緒あるクラブであります。私事でございますが、私も丁度35年前、自分の職業である会計士に到った年で自分にとりまして記念すべき年でもあります。

以来、飯能クラブは、緑と清流に囲まれた歴史ある飯能の街で、輝かしい伝統のあるクラブとして発展されてきました。この間、国際奉仕の面では、韓国東清洲クラブとの姉妹提携、拡大の面では越生毛呂ロータリークラブと日高ロータリークラブの二つのクラブ創立にご協力なされました。また当初36名でスタートした貴クラブも、現在66名の立派な会員を擁するクラブへと発展されました。

ロータリーも今や、拡大の時代を過ぎて、バランスのある発展が求められております。2000年を迎えた今、ロータリーは改革を求める勇気が必要ではないでしょうか。今年2月、狭山で催されました第3分区のIMで、当飯能クラブから「私にとってロータリーとは」のテーマで、島田秀和会員より真摯な、ご発表をいただきました。

伝統ある飯能ロータリークラブ皆様の、英知を以て21世紀に向け、ロータリーが真の意味で社会に理解される存在として、発展されることを期待します。終りに臨み、飯能ロータリークラブの皆様、ならびにご参会各位のご発展とご健勝を祈念して、お祝いのごことばとさせていただきます。本日はおめでとうでございます。



スポンサークラブ入間R.C会長
山根 宏夫様

本日は飯能ロータリークラブ創立35周年にお招きたまわり、スポンサークラブということで、ご挨拶をする機会を与えていただき誠にありがとうございます。昨平成11年11月25日、私共入間ロータリークラブも、創立40周年を迎え、この場所に於いて、梅沢ガバナー、高柳分区代理をはじめ、飯能クラブの皆様にもご協力をいただき記念式典を催させていただきましたことを、改めてお礼申し上げます。

飯能ロータリークラブは、私共入間ロータリークラブが創立5年目に最初のスポンサーとして、創立に協力申し上げたと聞いております。分区内でも66名という最大の人数を誇る、しかもよく纏まった、その上素晴らしい人材に溢れた、充実したクラブであると理解しております。また、入間クラブではまだ姉妹クラブをもっておりません。努力はしておりますが未だできておりません。飯能クラブは韓国の東清洲クラブと提携され、立派な活動をなされており私共は大変羨ましく思っております。

本日はこのような席で、ご挨拶させていただき感激しております。飯能ロータリークラブが益々のご発展なされると同時に、ご参会皆様のご健勝を祈念致しまして、お祝いのことばとさせていただきます。本日はおめでとうございます。



東清洲ロータリークラブ会長

柳 貴鉉様

親愛なる飯能ロータリークラブ会長、会員のみな様そして、ご夫人のみな様、こんにちは！

今日歴史深い飯能ロータリークラブ創立35周年の記念式をむかえ東清洲ロータリークラブを代表して7名の会員がここに参席いたしました。

奉仕精神で35年間たえまなく努力してりっぱに築き上げたことにたいして心からお祝い申し上げます。

両方のクラブは深い情意と親交で厚い友情を分けあっておよそ30年になりました。その間歴史ある飯能ロータリークラブがわが東清洲ロータリークラブの発展にいろいろご指導と協力をくださいまして本当にありがとうございます。

最後にもう一度創立35周年をお祝い申しあげながら飯能ロータリークラブの永遠な発展とここに参席なさったみな様のご家庭に幸運が訪れるようにお祈りしながら記念辞といたします。ありがとうございます。



飯能市長
小山 誠三 様

皆さんおめでとうございます。こうして、3分の1世紀を超える35周年の記念の式典を、心からお慶び申し上げますとともに、ご招待をいただいたことを深く感謝申し上げます。

言葉では簡単に国際交流と、いいますが…お隣の韓国と、友好親善の実をあげられるというのは、何んという嬉しいことかと私は思います。歴史を考えると、こうした皆さんのご努力が、亜細亜の平和の為と、世界の平和に、どれほど役立っているかという思いを見ることしきりであります。皆さん方が、社会奉仕の精神にのっとり、21世紀への歩みが続けられますことに、心から敬意を表します。

21世紀は、少子高齢社会の到来であると思います。これはこの社会を支える人の減少ですから、非常に行く末が危ぶまれます。自治体の長として私は市の人口ピラミッドを見ると、大変憂慮すべきものがあります。私達は、それを予測して施策を展開していかなければならないのですが、何んとしてもわからないところが、多いという思いが正直なところあります。どうか皆様方ロータリアンの、知恵と力でご指導いただければと思います。

皆様方が次の世紀へ向けて、又次なる記念の式典ができる日を目指し、大きな理想の実現に、その思いを湧き立たせているのが、私の胸に響いて参ります。今日の日を、一つの大きなステップにして、限らない進展を遂げられますよう祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。おめでとうございます。



名栗村長 柏木 正之様

私も、ロータリークラブのメンバーですが、入会してまだ3年未満、ロータリーの精神もあまりよく理解できていない新米会員です。このような立場で、お祝を申し上げますことは身の竦むような恐縮さを感じております。

私事ですが、私は中学から大学迄、学校の寮に住み、地域社会とは無縁の世界で青春時代を過ごしました。卒業後、最初に就職したのが横浜のニューグランドというホテルで、当時は横浜ロータリークラブの例会場になっていました。集ってくるロータリアンの方達は、当時の私にとってまばゆいばかりの存在で、<将来、このような方々の仲間に入れたら ->という思いを抱く一方、そんな事は不可能だろうという絶望感に近いものを持ったことを憶えています。そんな中で、オーストラリアから、ロータリーの交換学生をホテルが引受け、私がお世話をお願いされました。他の仕事はしないで、約10日間横濱を案内するなど仕事を通じてですが、これが、私にとってロータリーとの接点のはじまりでした。

名栗へ戻ってから、私は、丁度35年になります。父が死去してから帰ったのですが、飯能ロータリークラブも35周年ということで、この35年の歴史がどのような時代であったかが私にはよくわかります。

ずっと以前に、私はロータリーへの入会を勧誘され、大変光栄に思い、ありがたいお話でしたが、私ごとがロータリアンになって良いのかという懸念から入会しませんでした。3年前に入会させていただきましたが、その当時はこんな立場になるとは、思ってもいませんでした。制服もまだ一度も袖を通していませんし、出席も悪くてご迷惑をおかけしていることを、お詫び申し上げます。

このような立場にあって、地域行政というものを考えますときに、今の豊かな時代、平和な時代の中で、真の豊かさとはどのようなことかと考えます。これを追求していく上で大切なのは、もう競いあうことでも争うことでもなく、協力し合い、助け合って生活していくことではないかと思います。価値観の多様な時代にお互いの存在を認め合い、地域の中で平和に、あい助け合い協力し合っていけば、楽しい豊かな生活ができるのではないかといつも考えております。

ともすると、人は1位になりたい、トップでありたいという願望がありますが、いま地域作りの中でも、ナンバーワンより、オンリーワンが大事なのだと、いわれております。自分達に与えられた自然環境や、いろいろな条件を自分達なりに、どういかしていくか、自分達の工夫により、他の追随を許さない独創的な生き方をすることが、地域の活性化につながるのではないかとされています。

私も正にその通りであろうと思っております。小さな名栗村に於いても、名栗村ならではのものが、必ずある筈だと、毎日模索しながら行政に、取り組んでおります。



ロータリークラブの博愛と友愛の精神、こういうものが、一般社会に広がることにより、地域が平和になり、世界が平和になる事ではないかと感じるものであります。今後とも飯能ロータリークラブが、皆さんのますます活発な活躍により、地域に於ける平和と友愛の社会造りに、ご貢献されますようご祈念申し上げます。お祝いのことばとさせていただきます。本日はおめでとうございます。

閉会の言葉

副実行委員長 橋本 茂

皆さんこんにちは、本日はあいにくと雨の折にも拘わりませず、飯能市長さんをはじめ、ガバナー、分区代理他大勢のご来賓皆様のご出席をいただき、ここに飯能ロータリークラブ創立35周年の式典を、無事に終了できますことを、心から感謝申し上げる次第でございます。

先程来ご紹介申し上げましたように、遠く韓国東清洲より、私共の姉妹クラブであります皆さんがご参席いただいております。下手な韓国語でありますけど、お礼のご挨拶をさせていただきます。意のあるところをお汲みとりいただければ幸でございます。（ここで韓国語によるお礼の挨拶）

大変長時間に亘りまして、ご協力ありがとうございました。これもちまして式典を閉会させていただきます。



記念講演
吉野重彦様
演題

「曲がり角の日本経済」



2. 略歴

- (1) 生年月日 昭和5年11月13日
- (2) 学歴及び職歴 昭和29年3月 東京大学法学部卒業
同 年4月 埼玉銀行入行（飯能支店）
昭和56年4月 同 川越支店長
昭和59年6月 同 取締役総合企画部長
平成4年9月 あさひ銀行 頭取
平成9年6月 同 相談役
平成10年4月 同 特別顧問
- (3) 現在の役職 あさひ銀行 特別顧問
埼玉県商工会議所連合会 会頭
埼玉県大規模小売店舗審議会 会長
さいたま新都心産業経済団体連絡協議会 会長
埼玉県法人会連合会 会長

記念講演 曲り角の日本経済

あさひ銀行特別顧問 吉野 重彦様

本日は飯能ロータリークラブ創立35周年の記念式典も、滞りなく終了し誠にありがとうございます。このような機会にお声をかけていただきお話しできますことは甚だ光栄に存じます。

私は現在、商工会議所をはじめ、埼玉県のいろいろな役職をさせていただいております。それゆえ県内の経済についてお話しすればよいのですが、ロータリーということで現在の日本経済に、立ち塞がっております諸問題についてお話をさせていただくつもりで参りました。

埼玉新都心は、5月5日に街びらきを迎えます。11省庁、18機関の殆どが転居も終わり業務を開始しております。そこで、県内の経済界の幹部の皆さんや、関東財務局長、通産局長さん等とお話ししたお礼結論として「日本は、ここ何十年という間、自動車とエレクトロニクスの二親が、一生懸命稼いで、国民を食わせてきたけれど、自動車にも翳りが見えはじめ、エレクトロニクスも以前程の勢いが無い」ということでした。そしてこの二つに代わって日本をリードする産業は何んなのか、見えて来ない、日本は曲がり角にきていますというお話しでした。

今日は、我が国が直面している問題につき、お話しをさせていただきます。戦後55年間、日本が辿った経済成長の軌跡を振り返りますと、終戦からオイルショックまでの28年間、9.2%の高度成長をしてきました。そこから平成3年のバブル崩壊迄の18年間、4%に落ち込み、平成4年から昨年までは、0.9%の成長率であります。平成に入って10年間、株価は少し戻しましたがまだ半値です。地価も底値が見えてきません。長い歴史を持った名門企業がこの間、数多く倒産しております。

金融機関も、大手の銀行を含め、20行ぐらい倒産しています。又健全な企業でも、リストラで失業率が高まりきびしい状況が続いているわけです。この間に、日本は先端技術、バイオテクノロジー等、いろいろな面で、アメリカに大きく水を空けられてしまいました。この10年を「失われた10年」と呼んでいます。私があさひ銀行の頭取を務めましたのはこの10年の内6年で、まさに宴のあとを引継いだのでした。バブルの後処理に明け暮れたわけですが、この間に、交際しておりました四大証券の社長や、都銀のトップの方々、大蔵省や日銀の方が責任をとり退任されたり、或いは今なお獄中にあたり、自殺をされたりしました。今振り返って見ますと感無量なものがあります。

今年の景気の見通しですが、経済企画庁が毎月、月例経済報告を出しています。この3月の報告によりますと、IT投資を中心に、民間の設備投資は回復しており、「自立的回復の動きが徐々に表われている」としています。昨年の中頃から指標の上からは景気は良い方向に向かっているといえます。ただ10月から12月にかけてのGDPが、前期比-1.4%で年率にしますと5.5%の大きなマイナスです。一方アメリカは、+7.3%です。1月～3月で相当伸びないと、政府の言っている0.6%は、むずかしい実態です。

当面の景気見通し、今後10年間ぐらいの景気はどうなるだろうか、嘗てのような高度成長は期待できない、というのが私の見方であります。経済審議会が、昨年7月総理大臣に答申書を出しました。これによりますと、2010年迄の経済成長は、名目3%実質2%と予測しています。実質2%の成長が実現できれば、我々の生活が今までの10年より、倍近く豊かになるわけです。予測はハズレルことが当たり前ですが、これからの10年も余り成長は期待できません。

一方、米国は、2月に107ヶ月という、史上空前の成長を達成しました。平成5年当時、エコノミストでこれを予測した人はいません。日本は、これから株も上り、資産効果で消費を刺激し、3%、4%の成長をすることが無いとは限らない、その道もあり得るということです。私は現在の抱えている問題の大きさから高度成長はむずかしいと考えております。

日本経済に、立ち塞がっている問題は沢山あります。その中から三つほどに絞りますと、構造問題、少子高齢化問題、財政危機の問題となります。今朝も自民党の森さんが、両院議員総会に於いて、構造改革を押し進めていくと言っていました。構造とは何か、社会の仕組、世の中のシステムということですが、私共は、ともすればこのシステム、多くは戦後に作られたと考えがちですが、殆んどは戦時中の体制です。昭和15年（1940年）日本の現在の社会体制はこの頃に作られました。

戦時下、労働運動は禁止され、労働組合に代わって、各会社毎に産業報国会ができ、これが戦後の企業別労働組合の前身になりました。

戦時中は賃上げ要求に代り、定期昇給制度が発足、終身雇用制度、年功序列による賃金給与の支給等もこの時期にできたのです。税制もこの年から給与所得に対する源泉徴収制度、又法人税も独立の制度として創設されました。

地方税の交付金制度、借地借家法の大幅な改正により賃借人の権利の強化を打ち出すなど、この頃にできたいろいろな制度が、戦後もズーッと今日迄続いております。戦後我が国が、廃墟の中から立ち上がり、復興をしたときには、極めてこの制度は効率的に機能したのです。しかし低成長に入り世界でも稀に見る少子高齢化が進み、綻びが目立ってきており、構造転換が迫られています。賃金給与の体系、終身雇用、企業年金の制度等、そのまま日本の経営として残していかなければならないようなものも多くあります。しかし機能不全に陥っている部分は、できるだけ早く修正していかなければならないのが課題です。

日本経済の発展を妨げる一番大きな問題は、申す迄もなく人口問題です。一国の成長力を見るに、潜在成長力ですが、その国の設備の額、資本の額等から算定しますが、大きなウエイトを占めるのが労働力です。現在我が国は先進国に例を見ない早さで、高齢化し人口構成も著しくバランスも欠きはじめております。40年前は65歳以上の高齢者は20人に1人という若い国でした。昨年は6人に1人、このままいけば2025年には3.5人に1人という老人大国になります。日本の総人口は現在、1億2千6百万人余りですが、2007年から減少に転じ、2050年には、1億ぐらになる予定です。2100年には6千7百万人、（厚生省）試算のあそびですが、2700年にはこのままゆくと7万人になるそうです。経済の成長にとって問題なのは、15歳から64歳迄の生産年齢人口が、急速に減少することです。5年前をピークに減り始めてまして、2020年には約7300万人、平成8年対比1400万人も減少します。日本は間もなく労働力不足が、経済の成長を妨げる社会に変質していきます。今は大変な就職難といわれ、考えられないようですが、統計ではこうなっています。

今、医療保険が大変深刻な事態を迎えています。組合健保の80%が赤字で、これは老健への拠出金の負担が重く、解散する組合が増えています。そうすると会社の退職者も含め、市町村の国民健保に移りますので、この制度もきびしい状況となっております。

厚生年金も、遠からず巨額の財源が不足してくるのが目に見えています。これからは、現役世代が高齢の世代を支えていくという基本が、困難となってまいります。国民の皆さんが現行制度の綻びを承知し、自分の生活防衛や老後の為に貯えておくという考えです。低金利の中で、利の厚い金融商品へ向かうのは儲けるというよりは、更に貯えを増やし消費に回さないで貯蓄に回しています。これが景気の回復を遅らせているという悪循環となっているのも問題であります。

15歳から24歳の女性の数が、減ってきております。1995年には約900万人いましたが、2010年には、600万人に減少します。5年間で100万人のペースで減りますが、これにより新婚世帯が減り、出生の数も減ります。住宅の需要も当然少なくなり、これに伴って耐久消費財の需要も減少します。

地価の公示価格も9年連続してマイナスで、土地本位制といわれる我国にとり、大問題ですが、地価の上昇は期待できません。一人っ子同士が結婚しますと、一人で二軒の家を相続することも珍しい事ではな

くなります。これから毎年、60万人から70万人ぐらいの、移民が必要といわれ、予測できない事態が起きることも考えられます。人口問題が日本経済成長の重しとなっていますのは、間違いありません。

三つ目は財政の問題です。バブル崩壊からこの11年度迄に、約125兆を越える景気対策が講じられました。現在、国も地方も借金漬けで、2000年度の長期債務の残高は、647兆円といわれます。国債というのは、外から借りるわけでもなく、国の中のやりくりで意味は異なりますが、これは年収700万円の世帯が、4900万円の借入があるのと同じです。平成11年度の利払い費は11兆円、1日当たり299億円で、10年後は更に26兆円にもなるわけで大変なことです。

今後、一般歳出の伸びをゼロに押さえても、毎年30兆円からの国債を発行しないと、やってはいけません。景気が回復すれば税収が増え、やりくりできるのではという考もありますが、大蔵省の試算によりますと、年々1.7%の成長をしても、2000年と5年後を比較して2兆円弱の税収しか増えないといえます。

財政が硬直化することは、これからの少子高齢化社会で、綻びの出はじめた年金、健保、或いは赤字市町村のあと始末、景気の落込んだときの財政出動などができなくなります。たとえば、農業年金ですが毎年400億近い赤字を出しており、国から1兆8千億もの財政支援がなされています。年々少なくなる次の世代が、どうやって財政再建をしていくのかを考えさせられます。先月の朝日新聞世論調査でも、80%の皆さんが、財政再建の時期にきていると、強い危機感を持ち始めていますのは当然なことです。

以上当面する三つの問題について述べてきましたが、この他にも金融機関の抱えています不良債権の問題、ゼネコン、不動産、流通の業界が負っている約330兆円の有利子負債は、金利が上昇したとき耐えられるか、又年度の決算から導入される時価会計にどう対処するか、問題は沢山あります。

現在、不況の中で1番元気なのはIT産業です。今日のアメリカの好況を演出し、バブルといわれる程株価を押し上げたのもIT産業です。6500万年前巨大隕石の落下によって、恐竜が絶滅したといわれますが、これと同等のインパクトを与えたのがIT革命です。1980年代にアメリカで起こった、この情報技術の革新は、それ程の衝撃をこの地球上に起こしました。この新しい環境変化に対応できない企業は、巨大産業といえども、恐竜のように歴史の舞台から消える運命にあると、ソニーの井出社長が言っております。

旧来型の産業が、総て消えるわけではありませんが、IT産業の発展は目をみはるものがあります。インターネットにより、情報のスピードが早まり増大し、距離が世界的規模で縮まったといわれます。アメリカが、インフレ無き繁栄を9年近くも続けてこられているのも、インターネット取引によるものです。

ITの時代は、ドッグイヤーで進歩しているといわれます。犬は人間の7倍歳をとる、ITの技術革新はそのくらい急速に進歩しており、正に日進月歩です。これからもIT産業は日本経済の牽引車の役割を果たしていくことにまちがいありません。但し株だけは、現在先買いされている程未来が無限なのか、という疑問を感じております。先日アメリカの大手ヘッジファンドが破綻しました。今のインターネット投資熱は、狂気の域に達し、いずれこのバブルは崩壊するともいわれております。アメリカにしても、IT関連株の上昇に対し強い警戒感があるのも事実です。たとえ株価がバブルだとしても、今IT産業に代わる産業は見当りません。

どんな巨大産業も、環境の変化に対応できなければ滅びる、今強い企業よりも変化に対応できる企業になっていくことです。新しい産業は、諸々の重しをはねのけ、日本経済を引っ張る牽引車になっていたきたい、新しい時代に適応しつつ発展してもらいたいと思うわけです。

我が国は、依然として世界最大の債権国であり、金持ち国であります。日本が、今迄蓄積した富、教育の水準、高い実力、こういったものを活用しながら、自由で多様の知恵を持った社会を築き、世界の主要プレイヤーであり続けるのは決して夢ではありません。

ご静聴ありがとうございました。

祝宴風景





飯能ロータリークラブ
32年以降5年間の記録
(1995.7~2000.6)



—飯能河原の立看板—

創立より31年迄の記録は5年史、10年史、15年史、20年史、25年史、30年史に収められているので割愛する

大 浦 年 度

1995.7~1996.6 飯能ロータリークラブ会員名簿

役員 構 成	会 長	大 浦 邦 雄	理 事	宮 田 実
	副 会 長	細 田 伴 次 郎	〃	北 田 輔 邦
	幹 事	鈴 木 昭 平	〃	半 田 武
	副 幹 事	大 久 保 勝 彦	〃	中 里 昌 平
	会 計	郡 司 久	〃	金 子 圭 一
	S A A	矢 島 巖	〃	吉 田 武 明
	副 S A A	北 田 輔 邦	直 前 会 長 会 長 エ レ ク ト	加 藤 義 雄 中 里 弘
委 員 会 構 成 (〇 印 委 員 長)	クラブ奉仕委員会	〇宮田 実		
	職業分類委員会	〇五十嵐久四郎 江澤和男 市川洋太郎		
	会員選考委員会	〇細田吉春 細田徳二郎 斎藤文雄		
	会員増強委員会	〇山本清一 竹田久治 大木重雄		
	ロータリー情報委員会	〇加藤義雄 橋本 茂 大野康夫		
	出席委員会	〇山崎 紘 池埜和清 木住野 勝		
	会報委員会	〇大附富義 神田康夫 新井景三 鴨下彦三郎		
	親睦活動委員会	〇吉田武明 浅見榮一 小西正彦 山川莊太郎 鈴木盛久 宮寺治貞 大河原康行 安藤宏之		
	雑誌委員会	〇安藤泰雄 吉田 健 平沼幸男		
	プログラム委員会	〇金子圭一 半田 育 木下晴介 島田秀和		
	広報委員会	〇木川一男 関谷 昭		
	職業奉仕委員会	〇北田輔邦 石田裕敏 土屋良一 清水栄次		
	社会奉仕委員会	〇半田 武 萩野 暁 平沼雅義 大村一生		
	環境保全委員会	〇内沼幸一 樋熊士郎 間辺元幸		
	青少年委員会	〇西野 實 沢辺滯壱 石井照雄		
	高齢者対策委員会	〇石井道夫 鴨下孝一		
	国際奉仕委員会	〇中里昌平 吉田富男 平岡文夫 吉野敏浩		
	世界社会奉仕委員会	〇宮寺治貞 増島宏徳 大久保勝彦 堀越力男		
	ロータリー財団委員会	〇福田 博 林 幸一 萩野映明		
	米山奨学委員会	〇梨木芳太郎 森 和夫		
2570 地 区 委 員				

1995年 例会プログラム表

月 日	例会	行 事 及 び 卓 話 内 容	実 施 委 員 会
7 / 5	1611	会長・副会長・幹事・SAA・クラブ奉仕・職業分類 各委員長	
12	1612	結婚誕生祝い・会員選考・会員増強・ロータリー情報・出席・会報・親睦 各委員長	
19	1613	雑誌・プログラム・広報・職業奉仕・社会奉仕・環境保全 各委員長	
26	1614	青少年・高齢者対策・国際奉仕・世界社会奉仕・ロータリー財団・米山奨学	
8 / 2	1615	結婚誕生祝い インニシエーション・スピーチ 石田・山川会員	親睦活動委員会
9	1616	夜間例会 点鐘 5時30分 於 岩清水	親睦活動委員会
16	1617	旧盆につき休会	
23	1618	卓話「パーマネントファンドについて」森バストガバナー	プログラム委員会
30	1619	早期例会点鐘6時 能仁寺 法話 萩野映明住職 例会後天覧山清掃	社会奉仕委員会
9 / 6	1620	クラブ協議会 入会式 郡司会員	
13	1621	ガバナー公式訪問 金子千侍ガバナー・山本優実第3分区代理	
20	1622	結婚誕生祝い 卓話「ひとと動物との共存」所沢愛犬病院 小暮一雄医院長	親睦・プログラム委員会
27	1623	卓話「飯能市教育行政の課題」新井一太教育長	青少年活動委員会
10 / 4	1624	卓話「お酒のはなし」酒評論家 穂積忠彦氏 入会式 鴨下・大河原会員	プログラム委員会
11	1625	結婚誕生祝い 卓話「職業奉仕について」地区職業奉仕委員長 清水利夫氏	親睦・職業奉仕委員会
18	1626	夜間例会 点鐘 5時30分 於雨だれ荘	親睦活動委員会
25	1627	卓話 米山奨学生 キム・ヨンジュン君	米山奨学委員会
11 / 1	1628	結婚誕生祝い インニシエーションスピーチ 土屋会員入会式 市川・吉島会員	親睦活動委員会
8	1629	地区大会に振替	
15	1630	卓話 「運命を切り拓く企業精神」篠田喜作氏	プログラム委員会
22	1631	卓話 「8年に及ぶ我が亡命の日々」在日ビルマ人協会名誉会長ミヤマウイン氏	国際奉仕委員会
29	1632	卓話「高麗神社の七不思議」吉田 靖氏	プログラム委員会
12 / 6	1633	結婚誕生祝い 年次総会	親睦活動委員会
13	1634	クリスマス家族会 於 飯能プリンスホテル	親睦活動委員会
20	1635	クラブ協議会	上半期経過報告
27	1636	年末につき休会	

1996年 例会プログラム表

月 日	例会	行 事 及 び 卓 話 内 容	実 施 委 員 会
1 / 3	1637	年始につき休会	
10	1638	年頭の挨拶 飯能市小久保収入役 名栗村浅見村長 入会式安藤・間辺会員	
17	1639	結婚誕生祝い 会員卓話「水晶がひらく明日」橋本パスト会長	親睦・プログラム委員会
24	1640	卓話「今年の経済見通し」あさひ銀行総合研究所 青木辰之助専務	プログラム委員会
31	1641	卓話「ロータリー理解推進月間にちなんで」坂戸 RC 高山孝氏	広 報 委 員 会
2 / 7	1642	卓話「聴覚障害者の生活と手話」見上善昭氏 手話通訳新井はつ子氏	プログラム委員会
14	1643	結婚誕生祝い 卓話「エクアドルの子供達」SANE(サネ)ジャパン代表杉田優子氏	親睦・世界社会奉仕委員会
21	1644	IM に振替休会	
28	1645	イニシエーションスピーチ 島田会員・鴨下会員	
3 / 6	1646	結婚誕生祝い 卓話「火災予防週間にちなんで」飯能消防署予防課齊藤係長	親睦・プログラム委員会
13	1647	夜間例会 点鐘 5時30分 於 岩清水	親睦活動委員会
20	1648	休会（春分の日）	
27	1649	会員卓話「成人病について」増島会員	プログラム委員会
4 / 3	1650	卓話「飯能道ものがたり」小川久雄氏	プログラム委員会
10	1651	結婚誕生祝い 会員卓話「人について考える」半田 育会員	親睦・プログラム委員会
17	1652	卓話「雑誌月間にちなんで」田中パストガバナー	雑 誌 委 員 会
24	1653	卓話「美しい自然との共生をめざした変電所づくり」東京電力飯能工事事務所嶋田所長 入会式堀越会員	プログラム委員会
5 / 1	1654	見学会「埼玉西部広域防災センター」	プログラム委員会
8	1655	結婚誕生祝い 卓話「年金について」社会保険労務士事務所 村田所長	親睦・プログラム委員会
15	1656	イニシエーションスピーチ 大河原会員・吉島会員	
22 / 23	1657	親睦旅行 仙台方面 アサヒビール福島工場見学	親睦・職業奉仕委員会
29	1658	卓話「波木圭二ハーモニカライブ」波木圭二氏	プログラム委員会
6 / 5	1659	結婚誕生祝い 会員卓話「虫歯予防週間にちなんで」関谷パスト会長・入会式吉野会員	親睦・プログラム委員会
12	1660	卓話「中学生の奉仕活動について」聖望学園教師 伊藤智雄・川村恒輔先生	プログラム委員会
19	1661	夜間例会 点鐘 5時30分 於 雨だれ荘	親睦活動委員会
26	1662	クラブ協議会	年間経過報告

任期を終了して

第三十二代会長 大浦 邦雄

輝かしい歴史と伝統をもつ飯能ロータリークラブの第32代会長に就任し、いつの間にか一年間が過ぎてしまいました。

この間私なりに会務に専念し、微力を尽くして参りましたが、顧みて若干忸怩たるものがあります。とは言え、大過なく任期を満了する事が出来ましたのも、バスト会長始め会員の皆様方のご協力によることは勿論のこと常に率先して活動にたずさわり、全力投球で事に当って下さいました有能な役員並びに委員長諸氏、そして事務局の方々のご支援、ご協力の賜以外の何物でもないと心より感謝を申し上げる次第です。

ご承知のように、会長として年度の初頭にクラブの活動計画及び目標の要約を作成致しましたが、ガバナー事務所に提出した事項は次の9項目でありました。

①新会員のロータリー教育並びにクラブに溶け込ませることに關するクラブ独自の平順の探求②クラブ奉仕計画③職業奉仕計画④社会奉仕計画⑤国際奉仕計画⑥過去3年ないし5年間のクラブの主要な業績⑦本ロータリー年度の主要目標⑧追加情報または援助を希望するロータリー問題⑨公式訪問の際、地区ガバナーと検討したい問題や質疑事項がそれです。

さて、本年度のRI会長、ハーブ・G・ブラウン氏の掲げた活動の「テーマ」は真心の行動、慈愛の奉仕、平和に挺身の三つでした。これはブラウン会長の長年の夢であります。たとえ夢であっても全力で努力すれば必ず何らかの進歩発展が実現するであろうと述べておられます。

この発言を継承して、第2570地区ガバナー金子千侍氏の活動方針はRI会長が「テーマ」としている心を少しでも実現具現することであるとして9つの目標を提唱された訳であります。

私はRI会長の「テーマ」と金子ガバナーの方針と目標を踏まえ、更に山本分区代理さんのご指導のもとに、例会出席100%の実現、進んで行事に参加する雰囲気作りをめざしました。

同時に会員数の増強に力を入れると共に述べた年度初めのクラブの計画と目標に従って行事を実施して参りましたが、予想以上の成果を上げることが出来たと思っています。

勿論項目のあるものは、必ずしも十分に目標を達成したとは言えませんので、それらに關しては今後会長さんのご努力に待つところ大であると思います。終りに皆様に心からの敬意を表し、感謝を申し上げて退任の御挨拶と致します。

1995年10月13日～16日
韓国東清州ロータリークラブを訪問



1995年11月11日、12日
2570地区地区大会記念植樹
秩父羊山公園（飯能の杉）

1996年 5月22日、23日
親睦旅行（仙台方面）
アサヒビール福島工場見学



中 里 年 度

1996.7~1997.6 飯能ロータリークラブ会員名簿

役員構成	会 長	中 里 弘	理 事	中 里 昌 平
	副 会 長	吉 田 健	〃	半 田 武
	幹 事	大久保勝彦	〃	内 沼 幸 一
	副 幹 事	神 田 康 夫	〃	金 子 圭 一
	会 計		〃	山 崎 紘
	S A A	北 田 輔 邦	〃	浅 見 榮 一
	副 S A A	木 川 一 男	直 前 会 長 会 長 エ レ ク ト	大 浦 邦 雄 細 田 伴 次 郎
委員 会 構 成 （ 〇 印 委 員 長 ）	副 会 長	吉 田 健		
	職 業 分 類 委 員 会	〇江澤和男	宮 田 実	清 水 栄 次
	会 員 選 考 委 員 会	〇大木重雄	石 井 道 夫	萩 野 映 明 齋 藤 文 雄
	会 員 増 強 委 員 会	〇梨木芳太郎	林 幸 一	福 田 博
	ロータリー情報委員会	〇大浦邦雄	加 藤 義 雄	橋 本 茂
	ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会	〇中里昌平		
	出 席 委 員 会	〇安藤泰雄	半 田 育	市 川 洋 太 郎 小 崎 裕 之
	会 報 委 員 会	〇木下晴介	平 沼 雅 義	大 村 一 生
	親 睦 活 動 委 員 会	〇浅見榮一	小 西 正 彦	吉 田 裕 敏 吉 島 一 良
		島 田 秀 和	山 川 莊 太 朗	間 辺 元 幸
	雑 誌 委 員 会	〇西野 實	関 谷 昭	秋 山 昌 徳
	プ ロ グ ラ ム 委 員 会	〇山崎 紘	神 田 康 夫	宿 谷 直 司 竹 田 久 治
	広 報 委 員 会	〇宮寺治貞	大 河 原 康 行	吉 田 富 雄
	職 業 奉 仕 委 員 会	〇半田 武	木 川 一 男	樋 熊 土 郎 石 井 照 雄
	社 会 奉 仕 委 員 会	〇内沼幸一	池 埜 和 清	新 井 景 三 平 岡 文 夫
	環 境 保 全 委 員 会	〇五十嵐久四郎	鴨 下 孝 一	木 佳 野 勝
	青 少 年 委 員 会	〇大附富義	沢 辺 滯 壺	鴨 下 彦 三 郎 細 田 徳 二 郎
	高 齢 者 対 策 委 員 会	〇増島宏徳	土 屋 良 一	
	国 際 奉 仕 委 員 会	〇金子圭一	矢 島 巖	鈴 木 昭 平 森 和 夫
	世 界 社 会 奉 仕 委 員 会	〇吉田武明	萩 野 暁	鈴 木 盛 久
ロータリー財団委員会	〇大野康夫	安 藤 広 之	吉 野 敏 浩	
米 山 奨 学 委 員 会	〇細田吉春	山 本 清 一		
2570 地 区 委 員	環 境 保 会 委 員	加 藤 義 雄		

1996年 例会プログラム表

月 日	例会	行 事 及 び 卓 話 内 容	卓話講師・題名
7 / 3	1663	クラブ協議会 会長・副会長・SAA・クラブ奉仕・職業分類 各委員長	
10	1664	クラブ協議会 結婚誕生祝い 会員選考・会員増強・ロータリー情報・出席・会報・親睦活動 各委員長	
17	1665	クラブ協議会 雑誌・プログラム・広報・職業奉仕・社会奉仕・環境保全 各委員長	
24	1666	クラブ協議会 青少年・高齢者対策・国際奉仕・世界社会奉仕・ロータリー財団・米山奨学 各委員会	
31	1667	会員卓話・パスト会長	ロータリー雑感 加藤義雄会員
8 / 7	1668	結婚誕生祝い イニシエーション・スピーチ 市川会員、間辺会員	市川会員 父を通して見た飯能の自動車の歴史 間辺会員 土地家屋調査と土地
14	1669	旧盆につき休会（定款第四条第一節）	
21	1670	早朝例会 点鐘午前6時 能仁寺	法話 萩野映明会員 「座禅について」
28	1671	夜間例会 点鐘午後6時 岩清水	
9 / 4	1672	卓話 パスト会長	ロータリーと教育平岡文夫会員
11	1673	結婚誕生祝 卓話 青少年活動月間関連	「現代の高校生気質」飯能高校教諭 野口静男先生
18	1674	クラブ協議会	
25	1675	ガバナー公式訪問	
10 / 2	1676	卓話	「糸と人生」高山芳久氏
9	1677	結婚誕生祝い 卓話 パスト会長	「働く人の健康管理」石井照雄会員
16	1678	夜間例会 点鐘午後6時 雨だれ荘	
23	1679	卓話	「米山奨学金についてのビデオ上映」細田吉春会員
30	1680	卓話	「感動ある人生」小山 清氏
11 / 6	1681	卓話	「埼玉県政について」沢辺会員
13	1682	結婚誕生祝い 卓話	「財団にちなんで」地区財団推進委員 中村恒男氏
20	1683	卓話	「エアガールの神話」小方千鶴子氏
27	1684	卓話	「国際精神親運動の現状と活動」フィリピン状況とCCWAの活動CCWA国際親運動部 伊藤久平氏
12 / 4	1685	結婚誕生祝い 年次総会	
11	1686	クリスマス家族会 飯能プリンスホテル 点鐘午後6時	
18	1687	卓話	「絵画を通じての文化の交流」宮崎トキ氏
25	1688	クラブ協議会 上半期経過報告	中里 弘会長 吉田 健副会長 大久保勝彦幹事 中里昌平クラブ奉仕委員長 半田 武職業奉仕委員長 内沼社会奉仕委員長 金子圭一国際奉仕委員長 山崎絃プログラム委員長 浅見榮一親睦活動委員長

1997年 例会プログラム表

月 日	例会	行 事 及 び 卓 話 内 容	卓話講師・題名
1 / 1	1689	年始につき休会	
8	1690	年頭の挨拶	飯能市長 小山誠三氏 名栗村長 浅見康夫氏
15	1691	祝日につき休会	
22	1692	夜間例会(ボール・ハリス追悼記念例会)点鐘 午後5時 飯能プリンスホテル	パネリスト 細田徳二郎バスト会長 吉田富雄バスト会長 竹田久治バスト会長 斉藤文雄バスト会長
29	1693	結婚誕生祝い 卓話	「ロータリー理解推進月間にちなんで」吉島力良氏
2 / 5	1694	卓話	「小松空港惨事と自衛隊の活躍」航空自衛隊 元第二輸送隊司令 別府 芳氏
12	1695	結婚誕生祝い 卓話	「最新マルチメディアについて」NTTマルチメディアシステム部 大島角盛氏
19	1696	2 / 18 IM に振替休会	
26	1697	卓話	「円/ドル為替相場の底流」武銀地域経済研究所副社長 草島芳寿氏
3 / 5	1698	会員卓話	「健康について」石井道夫会員
12	1699	結婚誕生祝い「イニシエーションスピーチ」	吉野敏浩会員「弓道について」小崎裕之会員「私の会社について」
19	1700	卓話 1700回記念例会	「テレビ視聴率の秘密」金原二郎氏
26	1701	夜間例会 点鐘 午後6時 岩清水	
4 / 2	1702	4 / 5・6 地区大会振替休日	
9	1703	結婚誕生祝い	雑誌月間にちなんで地区広報雑誌委員長 斉藤金作氏
16	1704	卓話	「開かれた大学と地域貢献」駿河台大学学長 和田英夫氏
23	1705	卓話	「環境保全条例について」市環境部清流対策課長 野口秀夫氏
30	1706	休会(定款第四条第一節)	
5 / 7	1707	結婚誕生祝い 入会式 宿谷直司氏 秋山昌徳氏	パネルディスカッション「楽しく元気に出席を」パネリスト 竹田久治バスト会長・関谷 昭バスト会長・福田 博バスト会長
14	1708	結婚誕生祝い 卓話	「国連ボランティアとしてカンボジア選挙監視に携わって」木村 憲氏
21	1709	卓話	「こばまずニコニコ思いやり」事業急成長の秘訣 須田泰三氏
28	1710	卓話	「グッバイ英語コンプレックス」河合章夫氏
6 / 4	1711	親睦旅行と企業見学会(浜松方面)	
11	1712	結婚誕生祝い 卓話	落語 柳家権太楼氏
18	1713	夜間例会 点鐘 午後6時 雨だれ荘	親睦活動委員会
25	1714	クラブ協議会 年間経過報告	会長 中里 弘・副会長 吉田 健・ 幹事 大久保勝彦・SAA 北田輔邦・クラブ奉仕委員長 中里昌平・職業奉仕委員長 半田 武・社会奉仕委員長 内沼幸一・国際奉仕委員長 金子圭一・親睦活動委員長 浅見榮一・プログラム委員長 山崎 紘

任期を終了して

第三十三代会長 中 里 弘

昨年七月に会長に就任して以来私の人生で最も長く感じた一年でありました。

八月に体調をくずし例会を休み私の年度はどうなってしまうのかと心配でございました。

吉田副会長、大久保幹事、北田SAA、細田吉春パスト会長さん、各委員長さん並びに会員の皆様には大変ご迷惑とご心配をおかけ致しました。まずもってお詫び申し上げます。

RI ジアイ会長は「築け未来を行動力と先見の眼で」をテーマに全てのロータリアンは身をもって参加し行動力で未来を築き更に先見の眼が必要であり、先見の眼による行動力は世界に希望をもたらすと言っております。

大館ガバナーはこの方針に答えるべき「価値ある人生を求めて」そしてロータリーの四つの綱領を大切に

1. クラブ奉仕 2. 職業奉仕 3. 社会奉仕 4. 国際奉仕この四つの綱領は人生を活性化する一番大切な奉仕の精神を振興することであり、更にロータリーは自己研鑽の場であると言われました。

私はガバナーのテーマを心にひめて楽しい例会、活力あるロータリーを目標にしてまいりました。プログラムを大切に、例会に出席し、そして全ての行事に参加することによりロータリーを理解することが出来ロータリーが楽しく、すばらしいロータリアンが生まれてくるのではないかと考えております。

振りかえってみますと、ガバナー公式訪問の時の緊張したこと、更に歳末助け合いの街頭募金、クリスマス家族会、1月22日にはポールハリス追悼記念例会にて、パネラーに細田徳二郎、吉田富雄、竹田久治、齋藤文雄各パスト会長さんをお願いをし、アトラクションには大正琴を演奏しポールハリスを偲びました。新橋演舞場での観劇会、阿須運動公園の河川に枝垂桜の植樹、国際親善奨学生二名の応募があり、山川勝美さんが補欠者に選考されました。竹田久治、関谷昭、福田博各パスト会長さんにパネラーをお願いして「楽しく元気に出席」をテーマの例会、陸上自衛隊朝霞駐屯地に於ける地区大会で54クラブ全て参加の物産展、全委員長さんの意見により、白の手作りの吉田様に出店をお願いし、当日の販売成果もまずまずで一安心致しました。落語家柳家権太郎師匠をお招きしての卓話では会員の皆様の爆笑の例会でございました。親睦委員会プログラム委員会の皆様には特別お世話になりました。更に各委員長さん並びに会員の皆様と事務局さんには暖かい御指導、ご支援をいただきまして何とか職務を全うすることが出来ました。一年間大変御世話になりました。心より御礼申し上げます。

最後に飯能ロータリークラブの益々のご発展をお祈り申し上げてご挨拶と致します。



1996年10月19日～21日
東清州ロータリクラブ地区大会参加（11名）



1997年6月4日～5日
親睦旅行



細田年度

1997.7~1998.6 飯能ロータリークラブ会員名簿

役員 構成	会 長	細田伴次郎	理 事	石井道夫
	副 会 長	大木重雄	〃	大附富義
	幹 事	神田康夫	〃	中里昌平
	副 幹 事	平沼雅義	〃	山崎 紘
	会 計	工藤 理	〃	萩野 暁
	S A A	木川一男	〃	木下晴介
	副 S A A	金子圭一	直前会長 会長エレクト	中里 弘 吉田 健
委員 会構 成 (〇 印 委 員 長)	副 会 長	〇大木重雄		
	職業分類委員会	〇宮田 実 沢辺滯彦		
	会員選考委員会	〇関谷 昭 吉田富雄 大久保勝彦 平沼雅義		
	会員増強委員会	〇大野康夫 石井照雄 吉田武明 新井景三		
	ロータリー情報委員会	〇中里 弘 大浦邦雄 加藤義雄		
	クラブ奉仕委員会	〇石井道夫		
	出席委員会	〇梨木芳太郎 竹田久治 内沼幸一		
	会報委員会	〇半田 育 大河原康行 秋山昌徳		
	親睦活動委員会	〇木下晴介 江澤和男 石田裕敏 小西正彦 山川莊太郎 市川洋太郎 間辺元幸 宿谷直司 柏木正之		
	雑誌委員会	〇樋熊士郎 福田 博		
	プログラム委員会	〇萩野 暁 細田吉春 吉島一良 桑島直人		
	広報委員会	〇林 幸一 五十嵐久四郎 池埜和清		
	職業奉仕委員会	〇大附富義 清水栄次 浅見榮一 半田 武		
	社会奉仕委員会	〇中里昌平 細田徳二郎 北田輔邦 小崎裕之		
	環境保全委員会	〇鈴木昭平 金子圭一 木佳野 勝		
	青少年委員会	〇鴨下彦三郎 矢島 巖 島田秀和		
	高齢者対策委員会	〇鴨下孝一 齋藤文雄 浅見義一		
	国際奉仕委員会	〇山崎 紘 増島宏徳 芳賀榮士		
	世界社会奉仕委員会	〇安藤泰雄 土屋良一 小峰貞八		
	ロータリー財団委員会	〇橋本 茂		
米山奨学委員会	〇森 和夫 萩野映明			
2570 地区 委員	ロータリー情報委員	橋本 茂		
	社会奉仕委員	森 和夫		
	ロータリー財団推進委員	中里 弘		

1997年 例会プログラム表

日 時	例会	行 事 及 び 卓 話 内 容	備 考
7 / 2	1715	クラブ協議会	宮岡分区代理挨拶 会長、幹事、SAA
9	1716	クラブ協議会	クラブ奉仕 職業奉仕
16	1717	々	クラブ奉仕 社会奉仕
23	1718	々	国際奉仕 財団、米山
30	1719	卓話「ピアノ独奏」	木村美奈子先生
6	1720	卓話「ロータリー情報について」	中里弘会員
13	1721	休会	
20	1722	能仁寺 早朝礼会 坐禅	早朝礼会
27	1723	卓話「イニシエーションスピーチ」	安藤広之会員 秋山昌徳会員
9 / 3	1724	クラブフォーラム新世代からの提言	聖望学園高校 飯能南高校 飯能高校より7名
10	1725	卓話「青少年月間にちなんで」	川島園勝飯能警察署長
19	1726	クラブ協議会 ガバナー公式訪問にそなえて	
24	1727	ガバナー公式訪問	寺山栄一ガバナー 宮岡仁平分区代理
10 / 1	1728	卓話「産業廃棄物のリサイクルについて」	片岡春雄先生
8	1729	卓話「飯能市国際交流協会に参加して」	米山奨学生 李燕分さん
15	1730	卓話「イニシエーションスピーチ」	宿谷直司会員 柏木正之会員
22	1731	卓話「成人病について」	夜間例会 雨だれ荘 土肥 豊先生
29	1732	卓話「飯能市の上下水道について」	吉田親義氏
11 / 5	1733	卓話「飯能市の都計画について」	吉田親義氏
12	1734	卓話「ロータリー財団月間にちなんで」	バストガバー牧野逸郎氏
19	1735	卓話「イニシエーションスピーチ」	浅見義一会員 芳賀栄士会員
26	1736	卓話「外国からの宣教師」	神田秀夫先生
12 / 3	1737	年次総会 次年度役員選任	
4	1738	インターシティミーティング 入間産業文化センター	
17	1739	クリスマス家族会 プリンズ6F	夜間例会
24	1740	クラブ協議会 一年度前半をふりかえって	
31	1741	休会	

1998年 例会プログラム表

日 時	例会	行 事 及 び 卓 話 内 容	備 考
1 / 7	1742	年頭挨拶	飯能市助役 児玉 克氏、 名栗村助役 松下光男氏
14	1743	卓話「スポーツを通じて青少年育成を」	平沼秀雄先生
21	1744	卓話「イニシエーションスピーチ」	工藤 理会員
28	1745	卓話「録音談義あれこれ」	バストガバナー田中一郎氏
2 / 4	1746	演芸「三味線民謡」	岸明巡査部長一家
11	1747	休会（建国記念日）	
18	1748	テーブル毎のバズセッション	
25	1749	卓話「飯能市の未来像」	飯能市長 小山誠三氏
3 / 4	1750	卓話「警察よもやま話」	飯能警察署長 大島義正氏
11	1751	工場見学 椿本チェーン埼玉工場	
18	1752	卓話「新聞夢あれこれ」	読売新聞社小松崎和夫氏
			夜間例会 岩清水
25	1753	卓話「飯能名栗地区の道路と河川」	飯能土木事務所長 竹内 甫氏
4 / 4	1754	地区年次大会 深谷市市民文化会館	4月4日 4月5日
8	1755	卓話「雑誌月間にちなんで」	地区広報雑誌委員長 岩崎利一氏
15	1756	卓話「教育現場から見た現代中学生気質」	前加治中学校長 梶川 郁氏
22	1757	卓話「5分間スピーチ」	小西正彦会員、 金子圭一会員、大久保勝彦会員
29	1758	休会（みどりの日）	
5 / 6	1759	日本舞踊 長唄「四季の雨」	若柳麗香さん
13	1760	卓話「私たちと身近な国際化」	元埼玉県通訳 長沢忠博氏
20	1761	卓話「ブレア市との市民交流」	渡辺肇氏
27	1762	親睦旅行 上高地	1泊2日
6 / 3	1763	卓話「テレビのデジタル化とその将来」	飯能ケーブルテレビ社長 和泉由紀夫氏
10	1764	卓話「飯能青年会議所の事業」	飯能JC 理事長 古谷勝氏
17	1765	卓話「イニシエーションスピーチ」	桑原直人会員
24	1766	クラブ協議会 -年度終了にあたって-	

任期満了にあたり

第三十四代会長 細田 伴次郎

「光陰矢の如し」と申しますが、昨年7月より早くも一年を経過致し御陰様で会長として任期を満了することが出来ました。これはこの一年間、役員、パスト会長、会員の方々並びに事務局の皆様の温かいご支援の賜物と厚く御礼を申し上げる次第でございます。

本年度のRI会長グレン・W・キンロスさんは「ロータリーの心を」をテーマとして豊かな社会を作るための活動を提示され、また寺山ガバナーは「響かせようロータリーの心を、広げよう友の輪を」と掲げられました。当クラブでは「人の心を大切に、皆で楽しい例会を」を目標として努力してまいりました。会員増強につきましては名栗村より入会される事を永年の願望としておりましたが、浅見義一さん、柏木正之さんが入会され当クラブにとりましては、何よりの喜びであり、会員増強5%upに大きく貢献され、その際工藤理さんも入会なされ、合計で75名という飯能ロータリー始まって以来の会員数となり例会場も一段とにぎやかになりました。事業としては早朝例会の座禅、天覧山の清掃、環境問題への取組み、青少年問題として「新世代からの提言」というテーマで21世紀を背負う高校生のお話、椿本チェーンでの工場見学、四つのテストの唱和、そして国際親善では韓国東清州RC訪問、米山奨学生、財団ボールハリスヘロー、ベネファクター等、特にプログラム委員会、各行政、報道の方々の卓話、ピアノ演奏、津軽三味線、更に日本舞踊等、特に地元の方々の出演を戴き文化の高さを実感致しました。親睦委員会でもいつもと趣を変えての企画等、その他数々の事業が行われ各委員会ともに全力で投入いただき感謝しております。当然、公式訪問の際には寺山ガバナーよりお褒めの言葉をいただき、また、IMに於いては宮岡分区代理の「登り坂と下り坂、まさかの坂」等のお話、そして深谷の桜の花が満開での地区大会等多勢の皆様に参加がありました。

私達の道徳は綱領そして四つのテスト等を高く掲げていかに地域に根ざした運動をしていくかが問題です。本年の活動は市民運動の一助になって多くの人々にロータリーの運動が理解されたことと思います。

数々の思い出と実績は会報委員会で特集として写真付きで紹介をしていただきました。お陰様で充実した1年になり、皆様のご協力に感謝申し上げご挨拶と致します。



1997年9月3日
 クラブフォーラム
 「新世代からの提言」



1998年5月27日～28日
 親睦旅行上高地



吉田年度

1998.7~1999.6 飯能ロータリークラブ会員名簿

役員構成	第3分区代理	竹田久治	理事	萩野 暁
	会 長	吉田 健	〃	大附 富義
	副 会 長	石井 道夫	〃	増島 宏徳
	幹 事	平沼 雅義	〃	江澤 和男
	副 幹 事	北田 輔邦	〃	宮田 実
	会 計	中目 隆夫	〃	内沼 幸一
	S A A	金子 圭一	直前会長	細田伴次郎
副 S A A	半田 武	会長エレクト	大木 重雄	
委員会構成 (〇印委員長)	副 会 長	石井道夫		
	職業分類委員会	〇半田 育 沢辺壽彦 吉島一良		
	会員選考委員会	〇橋本 茂 吉田富雄 北田輔邦		
	会員増強委員会	〇木下晴介 関谷 昭 木川一男 柏木正之		
	ロータリー情報委員会	〇細田伴次郎 中里 弘 大浦邦雄		
	クラブ奉仕委員会	〇萩野 暁		
	出席委員会	〇市川洋太郎 大野康夫 梨木芳太郎		
	会報委員会	〇浅見義一 小峯貞八 吉田 実		
	親睦活動委員会	〇大附富義 石田裕敏 小西正彦 大久保勝彦 小崎裕之 浅見榮一 間辺元幸		
	雑誌委員会	〇島田秀和 齋藤文夫 半田 武		
	プログラム委員会	〇増島宏徳 清水栄次 中里昌平 神田康夫		
	広報委員会	〇木住野 勝 石井照雄 吉田武明		
	職業奉仕委員会	〇江澤和男 福田 博 山崎 紘 池埜和清		
	社会奉仕委員会	〇宮田 実 細田徳二郎 新井景三		
	環境保全委員会	〇土屋良一 林 幸一		
	青少年委員会	〇安藤泰雄 矢島 巖 木下俊男		
	高齢者対策委員会	〇山川莊太郎 鴨下彦三郎		
	国際奉仕委員会	〇内沼幸一 五十嵐久四郎 森 和夫		
	世界社会奉仕委員会	〇大河原康行 樋熊士郎		
	ロータリー財団委員会	〇細田吉春 萩野映明 田辺 實		
米山奨学委員会	〇加藤義雄 高橋 弘			
IM実行委員長	森 和夫			
IM副実行委員長	細田吉春 中里 弘			
2570地区委員	ロータリーの友委員	森 和夫		
	財団推進委員	中里 弘		

1998年 例会プログラム表

日 時	例会	行 事 及 び 卓 話 内 容	備 考
7 / 1	1767	三分間スピーチ・クラブ協議会	
8	1768	結婚誕生祝・クラブ協議会	
15	1769	クラブ協議会	
22	1770	クラブ協議会	
29	1771	夜間例会（雨だれ荘）	
8 / 5	1772	三分間スピーチ・結婚誕生祝・クラブ協議会	
12	1773	（旧盆につき休会）	
19	1774	公式訪問 卓話 講師 本塚文雄ガバナー	
26	1775	卓話「これからのロータリー活動にどう取組むべきか」大館清次バスター	
9 / 2	1776	三分間スピーチ・結婚誕生祝・卓話「車開発の裏話」	阿部政則氏
9	1777	早朝例会（能仁寺）『参禅会』萩野映明会員	
16	1778	卓話「今子供達は何を考えているのか」	松本國二氏
23	1779	休会（秋分の日）	
30	1780	卓話「サツマイモの話」	井上浩氏
10 / 7	1781	三分間スピーチ・卓話「麻薬・覚醒剤は絶対ダメ」	鯨井孝彦氏
14	1782	結婚誕生祝・卓話「米山奨学会について」	加藤義雄バスター会長
21	1783	卓話「私の経験」	五十嵐久四郎会員
128	1784	夜間例会（岩清水）飯能・日高 RC 合同例会	
11 / 4	1785	三分間スピーチ・卓話「狭山茶の話」	北岡美明氏
11	1786	結婚誕生祝・卓話「健康管理の進め方」	櫻井通氏
18	1787	卓話「ロータリー財団について」	中里弘バスター会長
25	1788	（地区大会へ振替）	
12 / 2	1789	三分間スピーチ・年次総会	
9	1790	結婚誕生祝・クラブ協議会	
16	1791	クリスマス家族会（飯能プリンスホテル）	
23	1792	休会（天皇誕生日）	
30	1793	休会（定款4条1節）	

1999年 例会プログラム表

日 時	例会	行 事 及 び 卓 話 内 容	備 考
1 / 6	1794	年頭のご挨拶 小山誠三飯能市長 柏木正之名栗村長	
13	1795	結婚誕生祝・卓話「第3分区代理として」	講師 竹田久治第3分区代理
20	1796	卓話「ロータリー理解推進月間にあたり」	細田伴次郎 直前会長
27	1797	夜間例会（雨だれ荘）	
2 / 3	1798	三分間スピーチ・バズセッションテーマ「ロータリーは今」	
10	1799	インターシティー・ミーティング(I.M.)	
17	1800	卓話「韓国の現状について」	路次二郎氏
24	1801	結婚誕生祝・「ハーモニカ演奏」	梅林治行氏
3 / 3	1802	三分間スピーチ・卓話「写真の話」	佐々木昆氏
10	1803	結婚誕生祝・卓話「飯能の歌人」	沢田克郎氏
17	1804	卓話「フィリピンの子供達の現状と CCWA 活動について」	伊藤久平氏
24	1805	卓話「災害用伝言ダイヤルの話」秋山昌徳会員	
31	1806	インシユーション・スピーチ「庭木の条件」小峯貞八会員「ロータリーに入会して」	田辺實会員
4 / 7	1807	卓話「葉楽のすすめ」『草苗演奏』	河津哲也氏
14	1808	三分間スピーチ・結婚誕生祝・卓話「歯の話」	石河清貴先生
21	1809	卓話「雑誌月間にちなんで」	森和夫パスト会長
28	1810	卓話「白内障について」	大木順子先生
5 / 5	1811	休会（子供の日）	
12	1812	三分間スピーチ・結婚誕生祝・卓話「予防医学としての漢方」	福島毅先生
19	1813	『工場見学』（サイボクハム）卓話	比留間康氏
26	1814	卓話「治る難聴」細田兵之助先生	
6 / 2	1815	三分間スピーチ・卓話「最近のダイオキシン対策など」	沢辺滯老会員
9	1816	結婚誕生祝・卓話「動脈硬化と生活習慣」	土屋崇先生
16	1817	夜間例会（大松閣）『講談』	一龍齊春水さん
23	1818	卓話「消化器癌にまつわる話」	小川晃男先生
30	1819	クラブ協議会（バッチ交換）	

※地区年次大会1998年11月20日～21日

※G・S・E 1998年11月13日～12月13日

※親睦旅行 1999年4月17日（日帰り）

※ロータリー世界大会 1999年6月13日～16日（シンガポール）

任期満了にあたって

第三十五代会長 吉田 健

創立35年と言う節目の年の会長と云う大役を命ぜられ、その重責を背負いながら年度を過ごして参りました浅学非才の私でありましたが、本年度飯能クラブより選出されました第3分区代理竹田久治氏の御指導のもと、石井副会長、平沼幹事、金子SAA、パスト会長の諸先輩、各役員、委員長、会員、事務局の山岸さん、西川さん、皆様の御指導と御協力を賜り一年の任期を無事終える事が出来ました。心から感謝申し上げます。

本年、RI ジェームスレイシー会長は「ロータリーの夢を追いつけよう！」又、第2570地区本塚文雄ガバナーは「ロータリーに威信を」と提唱されました。その主旨はロータリーこそ地域の信頼を一身に集めなければ……全てのロータリー活動が集大成しないという強い願いからだと思えます。

又、本年は戦後最大の経済不況に見舞われ、ロータリー活動どころではないと思われましたが、その様な時に1905年創始者のポールハリスがシカゴに於いて3人の友人と始めての会合を持ったのも2月23日の“厳寒の夜”だと言われています。その時のアメリカもひどい経済状態だったと云われています。本年は限られた予算の中で、ロータリー創始の原点に帰りジェームスレイシー会長、本塚文雄ガバナーのテーマ、強調事項を実行致しました。

網領にもとづいた、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕などの奉仕活動を行った中でより一層の会員同士の友情が深まり、会員の心の夢がはぐくまれ、夢を追いつけられたと思えます。

誠に手前勝手に恐縮でございますが、本年度会長の力不足のより現実出来なかった会員増強の問題、これはこのまま放置すれば将来の飯能クラブの浮沈にも関わる問題だと思えます。全会員の皆様、この機会に真剣に会員増強へむけて、全会員一丸となってお考え頂ければ幸いに存じます。

ロータリーの諸活動の原点は、個々のロータリアンから始まり各クラブ、分区、地区、国、全世界のロータリアンへと展開していきます。

当クラブも次年度は35周年の御祝いも予定されており、実行委員長さんも関谷昭パスト会長に決定致しました。飯能クラブも2570地区55のクラブの中でも歴史の重さ、会員数、活動状況、どれを取っても自他共に認めるリーダーシップの取れるクラブだと思えます。次年度以降、当クラブがますます発展していく為には、会員の増強は欠かせない課題だと思えます。組織は現状維持では衰退につながります。常に新陳代謝と増強が必要です。クラブ活性化のためには新しい血の導入が必要です。ロータリー理念のもとに活動し、継承していく我々にとっては会員増強は欠かせない課題であると信じます。次年度以降の飯能クラブの益々の発展を祈念致します。

最後になりますが、年間を通してお世話頂きました役員の皆様、会員の皆様に対し心より感謝申し上げまして退任の御挨拶と致します。



1999年 4月17日
親睦旅行（日帰り）



1996年 6月13日～16日
世界大会参加（シンガポール）

大木年度

1999.7~2000.6 飯能ロータリークラブ会員名簿

役員構成	会長	大木重雄	理事	中里昌平
	副会長	神田康夫	〃	安藤泰雄
	幹事	北田輔邦	〃	矢鳥巖
	副幹事	山崎紘	〃	吉田武明
	会計	中目隆夫	〃	萩野暁
	S A A 副 S A A	半田武 安藤泰泰	〃 直前会長 会長エレクト	山川莊太郎 吉田健 石井道夫
委員会構成 (〇印委員長)	副会長	神田康夫		
	職業分類委員会	〇吉鳥一良	平沼雅義	池埜和清
	会員選考委員会	〇福田博	森和夫	大浦邦雄
	会員増強委員会	〇大附富義	吉田富雄	梨木芳太郎
	ロータリー情報委員会	〇吉田健	細田伴次郎	中里弘
	クラブ奉仕委員会	〇中里昌平		
	出席委員会	〇大河原康行	加藤義雄	細田吉春
	会報委員会	〇浅見榮一	五十嵐久四郎	小西正彦
	親睦活動委員会	〇安藤泰雄	島田秀和	小崎裕之 田辺 實
		間辺元幸	高橋 弘	木下俊男
	雑誌委員会	〇土屋良一	鴨下彦三郎	樋熊士郎
	プログラム委員会	〇矢鳥 巖	竹田久治	細田徳二郎 吉田 実
	広報委員会	〇江澤和男	齋藤文雄	木下晴介
	職業奉仕委員会	〇吉田武明	金子圭一	宮田 実
	社会奉仕委員会	〇萩野 暁	半田 育	木住野 勝
	環境保全委員会	〇大久保勝彦	山崎 紘	清水栄次
	青少年委員会	〇市川洋太郎	小峯貞八	増島宏徳
	高齢者対策委員会	〇林 幸一	石井照雄	石井道夫
	国際奉仕委員会	〇山川莊太郎	内沼幸一	橋本 茂
	世界社会奉仕委員会	〇木川一男	浅見義一	萩野映明
ロータリー財団委員会	〇神田康夫	沢辺滸壺		
米山奨学委員会	〇大野康夫	新井景三	柏木正之	
35周年実行委員会	〇関谷 昭	橋本 茂	細田伴次郎	
2570地区委員	職業奉仕部門委員長	森 和夫		
	財団推進委員	細田伴次郎		
	社会奉仕委員	吉田 健		
	財団奨学学友委員	竹田久治		

1999年 例会プログラム表

日 時	例会	行 事 及 び 卓 話 内 容	備 考
7 / 7	1820	クラブ協議会、会長、副会長、幹事、SAA	
14	1821	〃 結婚誕生日祝い クラブ奉仕、出席、親睦活動、雑誌 プログラム、広報各委員長	
21	1822	〃 会報、職業分類、会員選考、会員増強 ロータリー情報、職業奉仕、各委員長	
28	1823	〃 社会奉仕、環境保全、青少年、国際奉仕 世界社会奉仕、ロータリー財団、米山奨学 35周年実行委員長	
8 / 4	1824	夜間例会（岩清水）	
11	1825	定款第4条第1節により休会	
18	1826	新会員入会式、結婚誕生日祝い、卓話 GSE とアメリカのロータリー事情	講師 石川嘉彦氏
25	1827	卓話、増強について	講師 多加谷磐氏
9 / 1	1828	結婚誕生日祝い、卓話、青少年は今、	講師 須藤澄夫先生
8	1829	早朝例会、能仁寺、	講師 萩野映明会員
15	1830	休日休会	
22	1831	新世代からの提言、社会奉仕委員会、青少年委員会共催	
29	1832	クラブ協議会	
10 / 6	1833	結婚誕生日祝い、卓話、職業意識について	講師 森和夫会員
13	1834	ガバナー公式訪問例会	
20	1835	卓話、米山について、	講師 浅田光二氏 米山奨学生 陳綺娜さん
27	1836	夜間例会（雨だれ荘）	
11 / 3	1837	祝日休会	
10	1838	結婚誕生日祝い卓話、国際親睦奨学生、学友について	講師 小島昭一氏
17	1839	卓話、これからの情報通信、	講師 今井良雄氏
24	1840	卓話 フルートの魅力、	講師 武井秀雄様
12 / 1	1841	年次総会	
8	1842	結婚誕生日祝い卓話、最近の青年会議所運動について、	講師 前島久尚氏
15	1843	クリスマス家族会、飯能プリンスホテル	
22	1844	クラブ協議会、上半期経過報告	
29	1845	定款第4条第1節により休会	

2000年 例会プログラム表

日 時	例会	行 事 及 び 卓 話 内 容	備 考
1 / 5	1846	年頭のご挨拶、小山飯能市長、柏木名栗村長	
12	1847	結婚誕生日祝卓話 新年の景気見通し、	講師 松沢新一様
19	1848	卓話、ロータリー情報あれこれ、	講師 竹田久治会員
26	1849	夜間例会、クラブフォーラム 21世紀をみつめて、	森、関谷、石井(照)、 福田、パスト会長
2 / 2	1850	卓話、世界理解月間について、	講師 田中政海氏
9	1851	結婚誕生日祝い、イニシエーションスピーチ、	桜井会員、中日会員
16	1852	卓話、介護保険発足を目前にして、	講師 大島和典様
23	1853	2月25日、I・Mに振替	
3 / 1	1854	卓話、	講師 アーウィン・オウエン・リーズ君、板橋恵民さん
8	1855	結婚誕生日祝い、イニシエーションスピーチ、	高橋会員、吉田実会員
15	1856	夜間例会(雨だれ荘)	
22	1857	卓話、知的財産権の保護、	講師 青木博通様
29	1858	創立35周年記念式典に関するクラブ協議会	
4 / 5	1859	創立35周年記念式典、飯能プリンスホテル	
12	1860	4月15日・16日地区大会へ振替	
19	1861	結婚誕生日祝い 卓話、友誌はあなたに必要か、	講師 中山恵詞氏
26	1862	バスセッション、青少年月間の意見発表について	
5 / 3	1863	祝日休会	
10	1864	結婚誕生日祝い、卓話、メンタルヘルス、	講師 齋藤文雄会員
17	1865	卓話、	米山奨学生、チェン・チーナさん、イニシエーションスピーチ、木下会員
24	1866	5月28日の親睦旅行へ振替、軽井沢方面	
31	1867	卓話、広告業界から見た最近の注目すべきこと	講師 小沢正光様
6 / 7	1868	結婚誕生日祝い 卓話、明治・大正時代の飯能のリーダー達、	講師 加藤義雄会員
14	1869	夜間例会(大松閣)	
21	1870	卓話、コンクリート構造物の耐久性について	講師 飛行坂基夫様
28	1871	クラブ協議会、年間経過報告	

任期満了にあたって

第三十六代会長 大木重雄

任期満了にあたり御挨拶を申し上げます。

21世紀を前にして、1999～2000年の記念すべき年でもあり、当飯能ロータリークラブ創立35周年記念事業実施でもあり、身にあまる重責をにない緊張のうちに会長を拝命いたしました。

就任直前よりシンガポール国際大会に参加、又飯能全市が燃えた聖望学園高校の甲子園大会出場等、あわただしく動きのある立ちあがりですスタートいたしました。

本年の特に社会を取りまく経済環境社会構造の急激な変化の中でRI会長カルロ・ラビツァ氏の提唱されました「信望、堅実、持続」のテーマのもと、地域社会、身近かな方々から信頼を得ることを目標に活動いたしました。

社会奉仕委員会では、飯能地区交通安全パレードへの参加、暴力排除追放キャンペーン運動に協力、これには多数のバスト会長さんも御出席下さいました。その結果、埼玉県民大会で唯一表彰クラブの栄誉に浴くしました。「新世代からの提言」と題する地元高校生の意見発表会の実施、青少年委員会では駿河台大学と連絡を密にして留学生の方々に35周年式典の折に活躍していただき、クラブ奉仕委員会は「21世紀を見つめて」と題し、クラブフォーラムの実施、プログラム、親睦の両委員会は最初から最後の夜間例会まで活動され親睦旅行では新しい企画でゴルフ会、温泉でゆっくりのアイデアで皆様御高評でした。

楽しませて頂き、奨学生のアーウィン君チエン・チーナさんも参加されました

国際奉仕委員会では委員長含む12名の御家族の方々が、アルゼンチン・ヴェノスアイレス国際大会に参加されました。各委員会ともアクティブに行動され感謝いたしております。

又本年度最大の行事でありました創立35周年記念行事におきましては、韓国東清州より9名のお客様をお迎えし国際色豊に錦上添花を添えていただき地区大会直前の御多忙にもかかわらず梅沢ガバナー、近隣クラブ会長幹事様の御出席をいただき関谷昭実行委員長、橋本茂、細田伴次郎副実行委員長のもと全会員一丸となって盛大に行事が挙行されましたこと深く感謝申し上げます。

御出席の会長様方より、飯能クラブはいいなとお言葉を多数頂戴いたしました事を申し添えます。

今年度は地域社会にも共感もたれる奉仕活動を心掛けて行動したつもりですが、35周年記念事業実施の記念すべく年に会長を務めさせて頂き生涯にのこる経験をさせて頂きました。関谷昭実行委員長橋本茂、細田伴次郎副実行委員長様、神田康夫副会長、北田輔邦幹事、半田武SAA、役員、会員の皆様方の身にあまる御指導御援助に深く感謝申し上げますと共に飯能RCの益々の発展、会員の皆様方の御健勝御多幸を祈念申し上げ退任の挨拶とさせて頂きます。

事務局の山岸さん西川さん大変御世話様になりました。ありがとうございました。



1999年 8 月14日
聖望学園高校甲子園初出場応援



1999年 9 月19日
飯能交通安全協会主催の市内パレードに参加



物故会員の冥福を祈って…

平成7年より平成12年までの間に
お亡くなりになった会員の冥福を祈ります



故
新井清平氏

職業分類 米穀小売
明治43年9月17日生
昭和39年7月 創立会員
昭和42年7月～43年6月 第4代会長
昭和48年7月～49年6月 第8分区代理
平成7年7月～8年6月 名誉会員
平成10年10月21日御逝去

新井清平氏を偲んで 加藤 義雄会員

新井さんは江戸時代からの豪商「中清」のご主人で、教養もあり多くの要職を歴任し、この地方きっての大人物でロータリーの重鎮でもございました。私が偉いなと思ったのは飯能一の財閥であり乍らお金を大事に無駄遣いせず、それでいて出すべきところへはドンとお出しになったことです。私はご葬儀の際光栄にも葬儀委員長を仰せつかりましたが、正に巨星墜つの思いで一杯でございました。改めて偉大なる大先輩を偲びご冥福をお祈り申し上げます。



故
山本清一氏

職業分類 司法書士
昭和2年1月12日生
平成2年1月入会
平成7年7月～8年6月 高齢者対策委員長
平成8年7月～9年6月 会員増強委員長
平成10年2月28日御逝去

山本清一氏の思い出 矢島 巖会員

お酒を飲むと、大変楽しく陽気になられ、昼間のかたい仕事が嘘のように、気前よくみんなにご馳走していた姿が目につかびます。親睦旅行の時や炉辺会談の後、一緒に飲みに行くと、女の子達は、皆先生の回りに集まりこちらは寂しく飲んだ事もありました。多分今頃は、天国で仲間を集め、明るく、楽しく、気前よく、お酒を飲み交わしている事と思います。もっともっとロータリー生活を楽しんで戴きたかったと残念に思います。

編集後記

今まで年誌の最初のページに飯能ロータリクラブのバナーを掲載してきたが35年誌にはあえて載せなかった。

バナーの象徴するものが、材木、繊維を取り上げて図案化したものであるため、バナーが意味するものが現在の飯能にそぐわないと思うからである。歴史は変わるべきでありまた変えるべきであると思うからである。

しかし、歴史の返遷はあってもロータリーの理念は変えることはないだろう。道は一筋に続いている。

35年誌がロータリーの理念実現のための道しるべとして少しでも役に立てばと祈っている。

最後に編集委員の中里昌平君、浅見栄一君の協力に心から感謝するものである。

(委員長 森 和夫)

飯能ロータリークラブ35年史

平成13年 6月27日 印刷

同 発行

発行所 **飯能ロータリークラブ**

埼玉県飯能市本町1番7号

飯能商工会議所内

印刷所 株式会社 **文化新聞社**

埼玉県飯能市柳町12番10号
